

子音の処理を早く、母音は長く。

5月9日の練習から

発声: (ロロロロー)・1つの(ロ)で完結しない。スラーにつながる。円を描くように、「LO」から「L」につなげる。音が変わった瞬間に母音になっている。子音の処理を早くしないと遅れるので、前の母音にくっつけて歌う。母音に時間をかけ、しかしすぐに「L」に移動。

(ヤエイオユー)・毎回、息を吸うたびに上顎(軟口蓋)を持ち上げ、フレッシュな息を吸う。高い音であればあるほど。

おんがく:

- ・(かみさまだ一ったらー)は、下降形だからあっさり行きすぎないで、ブレーキがかかる感じで歌う。「か」は、もっと大事に歌う。「だ」がばらばら。
- ・指揮者が振り下ろした打点は母音とすると、子音は、予測して入らないとだめ。
- ・(みえるのかしらー)が、空虚なかんじがする。もっと気持ちを込めて。
- ・(おんがくをー)の「お」はfでテヌートをかけて。(ん)で音楽が止まらない様に。息を流して。
- ・(くちにふくんでいたいー)で、クレッシェンド。
- ・(めもつぶってー)はppだが歌詞をもっと立てて。
- ・(シャーベットのようー)は、徐々にクレッシェンド。シャーベットが解けて、口の中に広がっていく感じ。笑顔が広がり、音楽が広がっていく感じ。(シャーベット)の(ベツ)を強調せず柔らかく、広がっていくように歌う。
- ・(そしてほおずりしていたいーその一むねにだかーれてー)は、mfからfにそしてffに移行。音が大きくなるというより厚みを増していく感じで。
- ・尻餅をつく瞬間がこの曲にはない。
- ・伴奏のない曲でアカペラで歌う。自分の出した音を見つめてほしい。

早春賦:

- ・隠れている2, 5拍目が重たいと音楽が進みたくても進めない状況。2小節単位で歌うとい
- い。向かっていく頂点が2小節の頭。子音の処理を早く。
- ・(ときにあらずーとこえもたてずー)は、4小節かけてpからmfにもっていく。
- ・(こおりとけさりー)はユニゾン。ユニゾンは、皆さんが揃うと響きで音がとんでいくので、音量はいらな
- いくらい。
- ・(はる)の「は」、(たにーの)の「た」をはっきりと。

連絡

- ① 5/23の練習は、19:00~21:00 講座室1です。
- ② Mさんからメールあり。母子とも順調。出産までもう少しかかりそうとのこと。皆様によろしくとのこと。 (予定日は5/23)

チャリティーコンサートで集まったお金 153,610円は 代表が直接 福島県 東京出張所に

お届けしたことを事を、ご報告します。